

気候変動への備えとして「ぎょさい」と「積立ぷらす」

昨年度は九州北部豪雨や超大型台風の上陸、記録的な積雪等、不安定な天候が続いた年でした。今年度もヨーロッパやアメリカを中心に各地で、この時期には観測されないような激しい嵐や雹等が観測されています。我が国においても、5月中旬に秋田県で観測史上最大雨量を記録する大雨に見舞われる等の異常気象が続いております。

気象庁によると日本における短時間強雨(1時間降水量50mm以上の雨)は増加傾向にあると予測されています。また、今年の夏は酷暑になるとも予測されています。

このような予測できない気候変動により、漁業の操業や漁場環境・資源等に影響が出てくること が危惧されています。

昨年度は、サンマ、サケ、スルメイカの記録的な不漁、台風や赤潮等による被害、ほたて貝の斃死等により、ぎょさいで174億円、積立ぷらすで237億円、合計では411億円をお支払いし、漁業経営の安定にご活用して頂きました。万が一の事態に備えるためにも「ぎょさい」及び「積立ぷらす」を活用して頂きたいと思えます。

今後も引き続き、気候変動による漁業への影響が心配されますが、漁業を安心して営んで頂けるよう、「ぎょさい」と「積立ぷらす」の普及・拡大に向け、一層の加入推進に取り組んで参ります。

平成 30 年度の加入実績 (5 月末累計)

(単位：百万円)

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	30 年度	29 年度	前年比	30 年度	29 年度	前年比
漁 獲 共 済	48,242	42,297	114%	2,465	2,188	113%
養 殖 共 済	94,076	94,287	99.8%	3,754	3,482	108%
特 定 養 殖 共 済	1,602	1,692	95%	63	64	98%
漁 業 施 設 共 済	5,001	5,166	97%			
地 域 共 済	1,256	1,162	108%			
合 計	150,177	144,604	104%	6,282	5,734	110%